

## 統合開発環境 e2 studio V4.0 ご使用上のお願い

統合開発環境e2 studio V4.0のご使用上の注意事項を連絡します。

- e2 studio V4.0でKPIT GNU Toolchainプロジェクト設定時の注意事項

### 1. 該当製品

e2 studio V4.0.0.26 および V4.0.1.007

### 2. 対象マイコン

- (a) RXファミリ RX23Tグループ
- (b) RL78ファミリ RL78/G1Dグループ

### 3. 対象コンパイラ

- (a) KPIT GNURX-ELF Toolchain (注)
  - (b) KPIT GNURL78-ELF Toolchain (注)
- 注: KPIT Technologies Ltd. 提供

### 4. 概要

「2. 対象マイコン」において、「3. 対象コンパイラ」を使用している場合、e2 studioのプロジェクトではマイコンのアーキテクチャを判別するコンパイルオプションが付加されない場合があります。

### 5. 内容および回避策

- (a) RXファミリ RX23TグループでKPIT GNURX-ELF Toolchainを使用する場合
  - 内容  
KPIT GNURX-ELF Toolchain を使用して作成したRX23Tグループ用のプロジェクトではコンパイル時にマイコンのアーキテクチャを指定するためのオプション(-mcpu=rx64m)が付加されません。

- 回避策

プロジェクト作成後に以下の手順で設定を変更してください。

- (1) プロジェクトプロパティの「C/C++ビルド」->「設定」ダイアログを開く。
- (2) 「Compiler」->「CPU」で"CPU型名"を"RX600"に変更する。
- (3) "RXハードウェアFPU命令の生成を無効にする"オプションのチェックを外す。  
更に"RX64Mターゲットのコードを生成する"オプションにチェックを入れる。
- (4) プロジェクトをリビルドする。ビルドコンソールにコンパイラオプション "-mcpu=rx64m"が出力されていることを確認してください。

(b) RL78ファミリ RL78/G1D グループでKPIT GNURL78-ELF Toolchainを使用する場合

- 内容

KPIT GNURL78-ELF Toolchain を使用して作成した RL78/G1Dグループ用のプロジェクトではコンパイル時にマイコンのアーキテクチャを指定するためのオプション(-mcpu=g13 または -mg13)が付加されません。

- 回避策

プロジェクト作成後に以下の手順で設定を変更してください。

- (1) プロジェクトプロパティの「C/C++ビルド」->「設定」ダイアログを開く。
- (2) 「Compiler」->「その他」で「ユーザ定義オプション」に -mcpu=g13 (または-mg13)を追加する。
- (3) プロジェクトをリビルドする。

備考: GNUツールに関する技術的な問合せは、下記のWebサイトから英語、日本語で登録できます。

KPIT GNU TOOLS & SUPPORT Webサイト:

<http://www.kpitgnutools.com/>

## 6. 恒久対策

(a),(b)共に e2 studio V4.0.2.008で改修します。(8/7から公開予定)詳細はRENASAS TOOL NEWS 資料番号 150807/tn2をご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=150807tn2>

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.